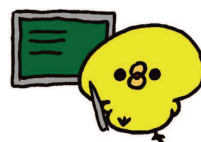


冰山モデルによる行動理解



福島県特別支援教育センター
(2024.12版)



1

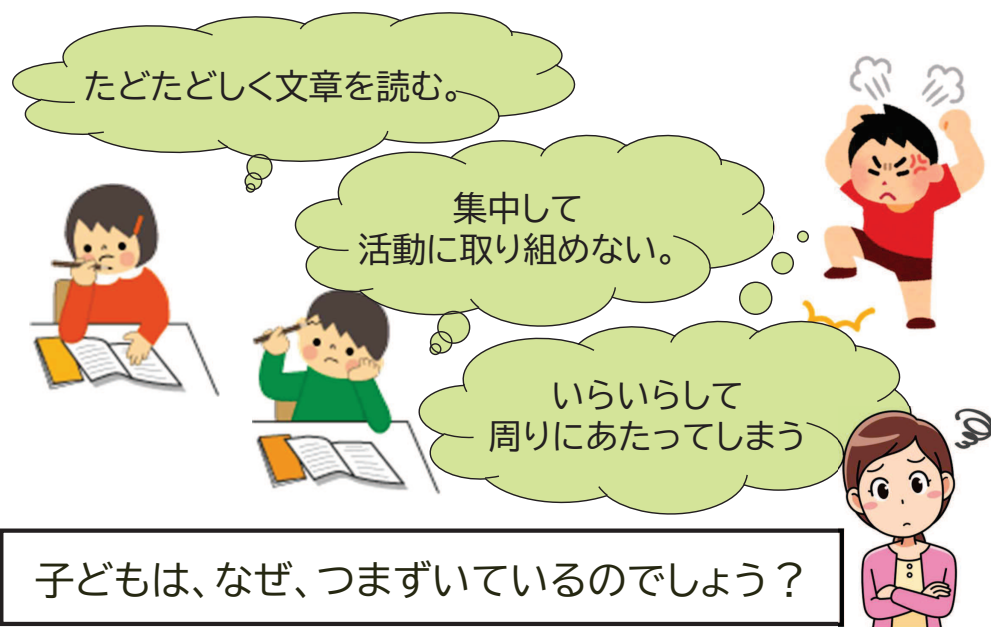
1 子どもを理解するために



子どもたちの行動を
「どう 見るか」が
「どう かかわるか」に
つながります

2

学校の中で、目にすることがあるこんな場面…



子どもは、なぜ、つまずいているのでしょうか？

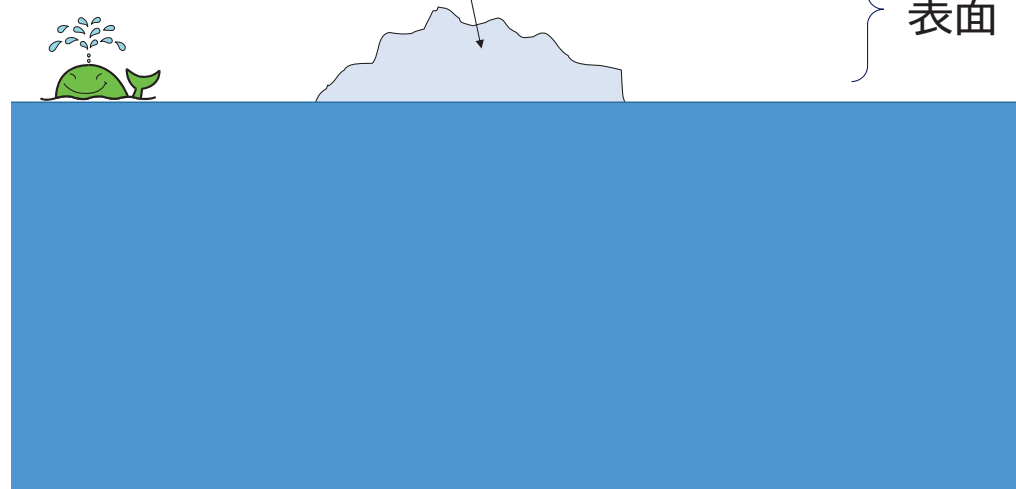
3

子どもの行動を見るときに…

目に見えること

落ち着かない

表面



4

子どもの行動を見るときに・・・

目に見えること

落ち着かない



表面

何をするのかがわからない
うまく表現ができない 刺激が多すぎる
行動や感情のコントロールができない

背景・
要因

目に見えないこと

5

行動の背景・要因を考える

落ち着かない



表面

何をするのかがわからない
うまく表現ができない 刺激が多すぎる
行動や感情のコントロールができない

背景・
要因

目に見えないことの困難さの理解と支援が必要

目に見える行動にとらわれすぎていないか。目に見えない
「子どもが本当に困っていること」に手をさしのべることが大切。

6

行動の背景・要因を考える

行動は同じでも一人一人、背景・要因が違う

例) 集団行動ができない

☆なぜみんなと同じ行動ができない？

- 刺激の多い状況や音が苦手
- 興味や意識が移りやすく、集中できない
- 指示等の情報を整理して聞き取れない、覚えておけない(記憶の苦手さ)
- 何をするのか状況がつかめていない
- 学校生活の枠組みが意識されていない
- 本人なりのルールに従っている
- 集団での失敗経験が重なっている

認知・情報処理的視点
心理的な視点
運動・動作の視点
など

7

子どもを理解するために 私たちが大切にしたいこと

- 子どもの困っている状態や
できていることを見る
- なぜ困っているかを推察する
- 指導・支援を考える

子どもが感じている困難さは、人それぞれです。周りの人の目からは見えにくい(気づきにくい)困難さもあります。

8

2 演習 ～実際にやってみましょう～

課題(提出物)が出せない



なぜ？

どうして？



どのような背景・要因が考えられるでしょうか？
下に記入してみましょう。(思いつく限り挙げてみましょう)

・
・
・

気になる行動の**根っこ**には何がある？と考えるところからはじめましょう！

9

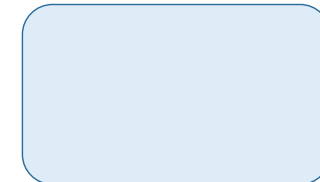
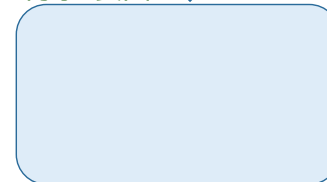
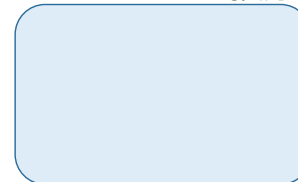
例えば・・・

目に見える行動

課題(提出物)が出せない



推測した背景・要因



どのような背景・要因が考えられるでしょう？

10

子ども理解は少しずつ



誰もが、一人で考えることには、限界があります。
保護者、担任、子どもにかかわる先生、関係機関等、
周りの人たちとつながり、話しながら、みんなで考えていくことで、理解が深まっていきます。



11

目に見えない困難さを理解し
指導・支援するために

- 目に見える行動にとらわれすぎていないか。
- 目に見えない「子どもが本当に困っていること」に手をさしのべているか。
- 「できること」にも目を向けられているか。

まずは、子どもの声に耳を傾ける

12